

# 瑞穂鯨城会ウォーキングクラブOP企画・ストレス解消に相生山緑地散策 【実施日：2021.12.16】



相生山のパワースポット、コナラの巨木の下で全員集合



縁擬木のナンテンの紅い実が街路の境界に多数見られ、花の無い時期の見所

相生山緑地オアシスの森は123ヘクタールの広大な敷地で天白区に立地しており、地下鉄桜通線を利用すればアクセスも良く容易に自然豊かな里山低山ウォーキングが堪能できます。

年の瀬も押し迫るこんな時だからこそ、のんびり散策ハイクをグループLINEで提案したところ、男性7名・女性6名の13名の方が、野並駅に9時30分に参集しました。

野並駅の北側を通る狭いアスファルト市道。かつての鎌倉街道を僅かに歩いて、まず野並八剣社に寄り参拝しました。

御朱印のご希望の方が見えましたが、社務所は固く閉ざされており、平日は留守の様でした。

ところでネット検索によれば、熱田神宮の大宮司の千秋家(せんしゅうけ)は、織田信長より野並をはじめ三ヶ村の所領をいただき、千秋家は明治初期まで熱田神宮の大宮司を務めました。

千秋家のルーツは尾張国を治めていた尾張氏に辿り着き。元々は尾張の国は尾張氏の大宮司を務めていましたが、平安時代に国司として藤原季範(すえのり)が養子として受け継ぎ。彼の孫の憲朝が号を千秋とした事から、それ以降、子孫は千秋として名乗り。千秋家が野並八剣社を熱田神宮の

別宮である八剣社から勧請して創建。記録はないが、縁は考えられます。

八剣社を後にして、鎌倉街道を分岐して千秋家墓所に向かいます。鎌倉街道の上りは井戸田を經由して熱田の森に至り、下りは嫁ヶ茶屋公園を辿り鳴海を経て、二村山・沓掛に向かいます。

新興住宅地から取り残された幅の狭い崖の畦道を辿りながら、住宅地の市道を抜け、梅野公園を左に見て千秋家の墓所に到着です。見慣れた仏式の石塔とは違い、背の高い柱状の墓石です。歴代の大宮司の他、分家・ご家族の方の墓石なのでしょう。以前には案内説明板があった様ですが、現在は撤去され立入禁止になっていました。

脇道から拝見した後、隣接地の多目的グラウンドを右に見て、枯れ葉が積もる道かどうか定かでない芝生広場を横切ります。

幸い風も無く小春日和に恵まれ明るい日差しの中、緑地保全区域の中央を通る桜並木街路を東に向かいます。まばらに建つ住宅の別荘地を思わせる街歩きです。クヌギ・コナラの雑木林に混じり色鮮やかな紅葉がまだ残っている他、ヒヨドリが種を運んだのか縁起木のナンテンの綺麗な紅い実が多数見られます。



相生山緑地保全地域の地図で現在地の確認



野並八剣社の拝殿前で安全第一の参拝



超高層ビルを眺めながら名前の確認



西の展望台で名古屋駅前超高層ビル群を眺望

矩に曲がる街路を左に分岐して、細い荒地の谷道を辿りながら枯れ葉を踏みしめ、足元が幾らか泥濘状態の道を注意しながら進みます。

この辺りの藪状の雑木林に囲まれた小さな谷が、ヒメボタルの生息地と思われます。

機会があれば夏の風物詩を堪能したいものです。

やがて、相生小学校に突き当り三叉路を左に曲がり坂を上げれば、オアシスの森の相生口に到着です。ここでトイレ休憩です。

幾らかのウォーキングながら身体が温まり、柔らかな冬の陽射しを浴びてアウターを脱ぎました。

その先の手入れの行き届いた竹林の小径は、程よく間伐され見通しも良く木漏れ日も射し、清々しい幽玄の世界、嵐山の天竜寺を想わせます。

西の展望台に向かって遊歩道を行けば、ピンク色や、水色の帽子的な元気な保育園児童のグループに合いました。紅葉のような小さな手を降る笑顔の児童に声を掛けてエールを交換し、可愛い小さな元気を頂き、気力で最後の丸太階段の上りです。やがて、菅田山三角点P43.1の西の展望台に至り眺望を楽しみました。

名古屋駅前超高層ビル群をはじめ、桜山の市大病院や、神宮東の超高層マンションなどが特定できました。皆さんこの眺めに満足して幾らかストレス解消になった事でしょう。その後、赤松林を周回してつどいの広場に向かいます。

手入れの良い梅林の小径を迎ればコナラの巨木の下に珍しくお二人の相生山の主・仙人が見えるではありませんか？

これは想いもしない以外な展開でした、相談役が先回りして見えたのです。

コナラの妖精ならロマンチックですが、ガタイの大きな意気軒昂な両雄に合い言葉を失いました。

東の展望台は、春の霞がかかったような眺望で御嶽や、恵那山は無理でしたが、猿投山のシルエットを僅かに確認できました。

ところで、都会の中の貴重な相生山緑地保全のオアシスの森は多くのボランティアの方や、地元の生産農家の努力で維持保全されており名古屋市民の誇りです。

手近にある自然を大切に有効に利用する事でフレイルや、ストレスを解消し、何時までもウォーキングを通して健康保持に努めたいものです。

オアシスの森を後にして坂を下り、相生山交差点で解散になりました。一年半ぶりの鈴のれんは韓国レストランになっていました。相生山駅近くのラーメン店に寄り、6名はお腹いっぱい美味しくいただきました。

本願寺町の我が家に12時半過ぎに帰宅、因みにスマホ歩数計によれば11,500歩・歩行距離8.0kmでした。

(撮影 30期北川 健一・31期文宮田いわを)

